ナラのチャンスを迎えた。

長に入ってから4度のサヨ | なかった。

ナラの好機を迎えたが、い | 本が出なかった。結局、最 | った。

た。十八回制が長らく続い は1958年から導入され

高校野球の延長再試合制

回で池田に2—1で勝利し は78年夏に芽室が延長十八 た時代には十勝支部予選で 江陵は延長で4度のサヨ|ずれも2死からで、あと一|後まで三塁は踏めずに終わ

1度得ただけだったが、延一しかし、あと一押しができ

コントロール、江陵の左腕|圏に走者を進められなか 帯農の右腕小林は抜群の | 逸して以降、なかなか得点

負となった。 続の支部代表を狙う江陵の 今大会の屈指の実力校同十 球に九回まで13三振を奪わ 者の内角に鋭く曲がる変化 の初戦は、歴史に残る好勝 シード校の帯農、 帯農は古谷の速球、

7度も進めた。ただ初回1 れた一方、得点圏に走者を 死満塁の好機を併殺で逸 手戦は、ゼロが30個並ぶス コアレスの引き分けとなっ 、2年連

延長十五回で帯工に6―5

が帯三条に延長十五回で4 以降は2004年夏に江陵 たほか、十五回制になって

―3、05年春に白樺学園が

で勝つなどしたが、いずれ

も決着している。

選代表決定戦(札幌第

札幌清田)以来の再試合

道内では昨夏の札幌支部

/ク (左)

となった。

合わせた両校。 帯農・小林が

翌30日の第2試合で顔を

っても気持ちでゼロに抑え 最後の夏なので、疲れがあ 農打5336576555

501(2) 501(3) 501(4) 50

0 振球 74

21010187

1560

が187球、江陵・古谷優

| ちらの未熟さがあったが、

|敗で併殺。「スクイズはこ

球を外されてのスクイズ失

し、十三回1死三塁も、投

|相手が一枚上手だった] と

带農•小林天道

(3年)

小林

校エースの力のこもった投

一大久保聡彦監督

(2年) が210球。 両

記録の速報は▼kachimai.mobi

写真がほしい ▼ 0120-25-9410

·三塁打=大盛、岩田 (帯

|塁打||阿部聡(江

回2死一、二塁の先制機を一安打。得点圏走者も六回に

球12001000000000 00000102220000

帯農は初回1死満塁、三

江陵は九回までわずかっ

TAKVS

延長十五回引き分け再試一エースを支えた。

000000 000000

| 者譲らず。守備も無失策と | 者を進めたが、本塁は遠か

球で強気の投球を演じ、両

|も4度にわたり得点圏に走

ある速球と切れのある変化 | 機をものにできず、延長後 古谷は荒れ気味ながら力の|た。九回2死二、三塁の好

000000000

◇Cブロック▽1回戦

00000000

【帯

できるよう、勝ちにこだわ

谷も「3年生とまた試合が たい」と話せば、江陵・古

らぬ構えで試合に臨んだ。

りたい」と互いに一歩も譲